



スーパーサイエンス  
ハイスクール (SSH) として  
さいたま市から世界へ  
そして未来へ



北区 大宮北高等学校 校長 細田 眞由美

### 1 大宮北高校イノベーション

時代は大宮北高校に変革を求めていた。4年前、さいたま市教育委員会の推進する「特色ある学校づくり」事業により、本校に進学指導重点校としての新しい改革＝イノベーションが巻き起こった。平成26年度には理数科がスタートし、58年間の普通科単独校から、2学科併置校としての新たな取組が手探りで始まった。平成27年度は、全教室への電子黒板機能付きプロジェクター設置、理数科生徒への一人1台タブレットPC貸与など、公立高校としては全国的にもトップクラスのICT教育環境が整い、その環境を活用したアクティブ・ラーニング型授業に積極的に取り組んできた。そして、一連の改革の中、教職員が一丸となって様々な新しい教育活動にチャレンジしていること、埼玉大学との強力な連携や地域の理数教育の拠点校としての取組が高く評価され、いよいよ本年度、悲願の文部科学省認定スーパーサイエンスハイスクール (SSH) に指定された。



設置、理数科生徒への一人1台タブレットPC貸与など、公立高校としては全国的にもトップクラスの

### 2 スーパーサイエンスハイスクール (SSH) としての取組

スーパーサイエンスハイスクール (以下 SSH) とは文部科学省が未来を担う科学技術系人材を育成する目的で、理数教育においてすぐれた取組をしている高等学校を指定し、先進的な理数教育や大学との共同研究や、国際性をはぐくむための取組を推進する事業である。

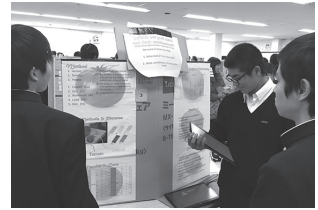
本校の SSH としての取組は、次の三点を柱として積極的な教育活動を展開している。

(1) 生徒の自主性をはぐくむ研究活動の推進  
SSH 指定により学習指導要領に縛られない先

進的な学校設定科目「数理探究」と「SS 科学総合」がスタートした。これらの授業実践で、より専門的な知識と技能の深化、総合化を図り、高度な思考力、判断力、表現力の育成を図っている。「数理探究」では、数学と理科等の知識や技能を総合的に活用して主体的な探究活動、そして「SS 科学総合」では、大学教授による最先端科学の講義や複数教科の知識を統合し物事の本質に迫っていく授業実践を展開している。

#### (2) グローバルに活躍する人材育成

台湾・シンガポール・オーストラリアの高校生とのグローバル共同研究、そして「SS 科学英語実践講座」における英語での探究活動を実践している。これらの取組で、母語のみならず英語でも積極的に自分の意見や研究成果を発信できる、グローバルに活躍する人材育成を目指している。



#### (3) 地域の理数教育拠点校

「夏休み自由研究お助け隊」や「天体観望会」「中学生1日体験授業」などの小・中学校アウトリーチ活動や、埼玉大学と連携した様々な特別プログラムを実施し、地域の理数教育の拠点校として積極的な取組を推進している。

### 3 さいたま市から世界へ そして未来へ

不確実性を増す社会だからこそ、何事にも主体的に取り組む姿勢、多様性を尊重する態度、他者と協働するための高いコミュニケーション能力を兼ね備えた人材が求められる。今、大宮北高校は、「さいたま市から世界へ そして未来へ」を合言葉に、化学技術分野で国際社会をリードする次世代のリーダーを育成するため、学校の総合力を結集した質の高い教育活動を展開している。